

## 取締役の異動のお知らせ グループ財務担当取締役、クリス・ルーカス、健康上の理由により退任

バークレイズ・ピーエルシーおよびバークレイズ・バンク・ピーエルシー（以下「バークレイズ」）は、グループ財務担当取締役のクリス・ルーカスが今年8月16日付で退任することを発表しました。直近の発表では2014年2月28日付で退任する予定でしたが、健康上の理由から予定より早く退任することになりました。

グループ財務担当取締役のクリス・ルーカスは次のように述べています。

「私が2月に退任の意向を表明した主たる理由のひとつは、私自身の健康上の問題でした。来年初まで職務を継続できると考えておりましたが、現在の私の健康状態から、それが難しいことが明らかになりました。私はバークレイズ、私の家族、私自身のために何か正しいことなのか考え、予定より早く退任するという決断を下しました。バークレイズを去るにあたり、バークレイズの財務は強固であり、今後もお客様、株主、その他のステークホルダーの皆様へ優れたサービスを提供し続けていくことができる状態にあると確信しています。」

グループ最高責任者、アントニー・ジェンキンスは次のように述べています。

「昨年、ルーカスが辞任の意向を明らかにした際、後任の選出から就任に至るまでの間、できる限り職務にとどまる意向を示してくれたのは、実に彼らしい配慮でした。ルーカスがグループ最高責任者就任1年目の私を支援し、アドバイスと知見を提供してくれたことに対し、深く感謝しています。ルーカスは6年間の在任中に当グループが直面した多くの難題を乗り越えるために尽力し、バークレイズが着実に「選ばれる銀行（'Go-to' bank）」になるための基盤を整える上で重要な役割を果たしました。」

グループ会長のサー・デビッド・ウォーカーは次のように述べています。

「ルーカスはバークレイズ在籍中、取締役会の貴重なメンバーでした。多くの投資家と接してきた私は、ルーカスが投資家から尊敬されている財務担当取締役であることを認識しています。健康上の理由により、お互いが望んでいたよりも早く退任せざるを得なくなったことは誠に残念ですが、ルーカスの決断を尊重し、今後の健康を心からお祈りしたいと思います。バークレイズの歴史の中で最も難しい局面のひとつとなった時期に、ルーカスはグループの財務を問題なく管理してくれました。彼のバークレイズで功績は賞賛に値します。取締役会ならびに株主の皆様を代表し、ルーカスのバークレイズへの多大な貢献に感謝いたします。」

バークレイズは今年2月3日、クリス・ルーカスがグループ財務担当取締役を退任することを発表しました。7月16日、ルーカスの後任として、トゥーシャー・モーザリア氏をグループ財務担当取締役に就任することを発表しました。モーザリア氏は今年10月15日付でグループ財務担当取締役に就任すると同時に取締役会に加わることにしました。

グループ会計監査役のピーター・エストリンが今年10月15日までグループ財務最高責任者代理を務めます。エストリンは増資を含め、当グループの財務のあらゆる面に精通しています。エストリンは経営委員会の会合には出席しますが、取締役会には加わりません。

本件に関するお問い合わせ先:

**バークレイズ**

インベスター・リレーションズ

チャーリー・ローゼス

+44 (0) 20 71165752

メディア・リレーションズ

ジャイルズ・クルート

+44 (0) 20 7116 4755

### バークレイズについて

バークレイズは、個人・法人向け銀行業務、クレジットカード、投資銀行業務、資産管理業務などさまざまな金融サービスを欧州、米州、アフリカ、アジアといった地域で展開している世界有数の金融機関です。バークレイズは、人々が目標を実現できるよう、正しい方法で手助けをすることを目標としています。300年以上の歴史と銀行としての専門性を備えたバークレイズは、50カ国で約14万人もの従業員を擁しています。世界中のお客様に、為替、融資、投資、資産管理などのサービスを提供しています。より詳細な情報は、グループのウェブサイト [www.barclays.com](http://www.barclays.com) をご参照ください。

### クリス・ルーカスについて

クリス・ルーカスは2007年4月にグループ財務担当取締役役に就任し、経営委員会に加わりました。財務、インベスター・リレーションズ、資金管理、税務、企業開発、本部秘書室など、当グループの数々の機能の統括しています。バークレイズ入社以前はプライスウォーターハウスクーパース LLP に在籍し、英国金融サービス責任者、グローバル・バンキングおよびキャピタル・マーケッツ責任者を務めました。

ニューヨークのプライスウォーターハウス・クーパーLLP で米国銀行監査業務責任者を3年務めるなど、キャリアの大半を通じて様々な金融サービスに携わり、財務および会計に幅広く精通しています。1999年度から2004年度にバークレイズのグローバル・リレーションシップ監査パートナーを務めた後、他のグローバル金融サービス機関で同様の職務を担いました。

### 所得保証

これまでの年次報告書で開示したとおり、クリス・ルーカスは業務執行取締役として、民間医療保険、生命保険、所得補償保険を含む各種給付の権利をバークレイズから付与されました。所得保証保険の条件に従い、ルーカスはバークレイズに提出する健康診断書に基づき、所得保証を受給する権利を有しており、この理由で、従業員としてとどまります。所得補償保険は、役員が健康上の理由により職務を遂行できない年、または早期退任の場合、役員が65歳に達するまでの期間が給付対象となります。ルーカスへの給付は年間60万ポンドで、給付額は年間5%を上限にインフレ率に応じて定期的に見直されます。

また、ルーカスは在職中死亡保険ならびに民間医療保険も適用されます。

ルーカスは2013年の裁量賞与支給の対象となり、その額はグループ財務担当取締役在任期間中のルーカスの業績を反映したものとなります。新たな繰延賞与、長期インセンティブ・プラン(LTIP)に基づく報酬、退職金を受給する権利は有しません。

本稿は、バークレイズ・グループが2013年8月14日に発表した英文RNS、“Directorate Change - Group Finance Director Chris Lucas to step down due to ill health”の日本語訳です。その正確な内容につきましては、原文である英文リリースをご参照ください。本稿と原文において齟齬がある場合には原文が優先します。リリース原文は <http://group.barclays.com> のニュースセクションにてご覧いただけます。